



保育室便り 4月号



4月に入り桜も満開になり、お散歩にでかけるのも、いつもとは違う景色と一緒に見られるウキウキした気分が出かけました。舞鶴公園の桜はとてもみごとで視界が一面ピンクという経験を楽しみました。子ども達も桜が届きそうに感じるようで、一生懸命手を伸ばす姿が可愛く写りました。中旬には舞落ちる花びらの中の散歩を楽しみ、下旬には新芽の美しい黄緑も観察出来ました。お堀では渡り鳥たちの姿が減り、変わりに大きなコイが顔を出してくれています。まだ上手にお話が出来ない子ども達ですが、季節の変化を感じて

くれているようでした。来年の春には、お話上手になった時に、どんな思いで話をしてくれるか楽しみです。春は新しい命が多く生まれる季節でもあります。絵本の中にも誕生日を祝うものや生まれることを題材にした読み物があります。動物園などで新しい命に触れることがありましたら、合わせ読んで頂けると嬉しいです。ヒヨコとヤギは移動動物園で触れ合った時の物です。大きな子たちは膝にヒヨコを乗せて大事に寝かしつけるように触り「優しく扱う」ことを体現していました。小さな子たちはアヒルやヤギの後を追いかけて、餌をあげる「お世話」を楽しんでいました。子ども達なりに優しさの表し方を知っていることに驚かされる楽しい散歩になりました。



四月の絵本

- 「うまれたよ！メダカ」 文 小杉みのり 写真 松沢陽士 岩崎書店
メダカの成長を通して沢山の発見から、探究の始まりを刺激してくれる一冊です。
- 「こいぬがうまれるよ」 文 コール 写真 ウェクスラー 福音館
新しい命の誕生を科学の目線で解説。可愛い子犬の成長を時間軸で味わう読み物です。
- 「ちびゴリラのちびちび」 ルース・ボーンスタイン 作 ほるぷ出版
ゴリラのちびちびの成長を通して「誕生」を感じる可愛い物語です。

5月の遊び

室内では・・・野菜の苗を植え、お世話(水やりなど)。
ベランダでは・・・シャボン玉遊び、息を吹くことで肺の運動機能を育てます。
お散歩では・・・子ども達の見たいものをじっくり保育士が言葉を補いながら楽しめます。
製作では・・・シールやスタンプの形を生かした自由画を楽しみます。
写実的ではなく自分の思いで自由に描く楽しさを知ります。

意識したい行事「端午の節句」

男の子の成長と幸せを祝う行事です。家の中には武者人形などを飾って、粽や柏もちを頂きます。柏持ちは上新粉を蒸らして小豆餡を包み、さらに柏の葉でくるんだものを言います。柏の葉は新芽が出るまで、古い葉が落ちないことから、「家系が絶えないように」と願いを込めて使われ、縁起物として端午の節句に欠かせないお菓子になりました。